



明けましておめでとうございます！

積善の柴田です。新しい年が始まりました。今年は少しでも明るいニュースが多く流れてくれますようにと念じております。

皆様、今年もよろしくお願ひ致します。

さて、お正月休みについて食べ過ぎてヤバイと思われる方もみえるのではないのでしょうか。

近年メタボリックシンドロームが健康を阻害すると問題にされていますが、これは具体的にどういうものなのか調べてみました。

メタボリックシンドローム(症候群)とは、内臓脂肪型肥満が大きな原因である高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満症などの4つのうち、2つ以上の生活習慣病の病態が重なった複合生活習慣病の事だそうです。

いわゆる血糖値や血圧がやや高く、お腹がぼっこり出てきた人の事ですね。

日本肥満学会による基準

1. 腹囲:男性・85cm以上 女性・90cm以上
2. 血圧:収縮期血圧値 130mmHg以上 拡張期血圧値 85mmHg以上
3. 血中脂質:中性脂肪(TG) 150mg/dL以上 または HDLc40mg/dL未満
4. 血糖値:110mg/dL以上

「余分3兄弟」なんてCMがありました。メタボ対策はやはりバランスの良い食事と適度な運動、嗜好品の制限ですね。しかしなかなかいきなりの我慢や努力は難しいものです。

食事の際は野菜から食べたり、スナック菓子の間食を避けたり、エレベーターやエスカレーターに乗らず階段を使うようにしたりと、小さなことから始めてみてはいかがでしょうか？



■ ■ □ ——— 1) 液状化判定について ——— □ ■ ■

★ ☆ 今回は液状化判定についてのお話です！

小規模建築物のように軽量の構造物の地震による液状化被害は、おおむね地表面から5 m程度の深さまでの層にある地下水で飽和した砂層が起因していると思われます。

震災による液状化被害を目の当たりにし、この原因ともいえる水位を地盤調査の際に知りたいと思われる方が増えているようです。

水位を知るための従来の方法として、ボーリング調査を行うという方法がありますが、費用が高いため特に小規模建築においては、なかなか実施できないのが現状です。

そこで私どもでは、スウェーデン式サウンディング試験時に水位を測ることは出来ないだろうかと考えました。

スウェーデン式サウンディング試験を行った時にできるスウェーデン孔に、特殊加工した管を差し込み、その中に水位計を落として測定するのです。ボーリング孔でなくてもスウェーデン孔でも測れるということです。

これにより、今後はスウェーデン式サウンディング試験とセット測定で安価に水位調査を行うことが出来ます。

今までスウェーデン式サウンディング試験では明確にならなかった水位を、水位計で測定し、更に微地形等からの概略判定・土質推定と併せ簡易液状化判定をすることが可能となります。

2011年9月15日付け住宅産業新聞社の記事に掲載されましたが、国交省は来年度にも住宅性能表示に液状化情報を追加する方向で、来年以降に性能表示項目の変更告示案を作成することとなりました。(記事詳細添付の通り)

今後は液状化の有無を予測していくことで、より地盤の安全性について考えることが必要となっていくように思われます。

▼ ▼ ▼ お問い合わせはこちら ▼ ▼ ▼

<http://www.sekizen.jp/contact.html>

★登録変更及び配信中止をご希望のお客様は大変お手数ですが、下記アドレスま

ご連絡くださいますようお願い致します。

[jiban.No.1@sekizen.jp](mailto:jiban.No.1@sekizen.jp)



株式会社 積善

〒465-0028 愛知県名古屋市中東区猪高台1丁目1316番地

TEL:052-773-1055 FAX:052-773-1066

HP:<http://www.sekizen.jp>



2011年9月15日付け  
住宅産業新聞社 記事

## 戸建て宅地の液状化情報 早ければ来年度から 住宅性能表示に導入

新築を基本に既存も可能か判断

国土交通省は早ければ来年度から、住宅性能表示制度に戸建て宅地の液状化に関する情報表示を追加する意向だ。新築での表示を基本とし、既存住宅での導入は技術的検討を踏まえて判断する。今年度中に液状化予測手法の妥当性や情報表示内容、液状化予測や対策に関する技術的な検討を実施。これらを踏まえ、同省としては、来年度以降に性能表示項目の変更告示案を作成する。

現在の住宅性能表示は、「構造の安定」や「火災時の安全」など10分野の性能項目に分かれており、液状化を1番目の項目として追加するか「劣化の軽減」の中に組み込むかなどを検討。液状化判定の方法としては、代表的手法の「FL法」のほか、「地歴」とあわせて簡便なスウェーデン式サウンディング法を利用した方法なども含めて検討する。具体的な検討作業は、公募により地盤調査会社の(株)東京ソイルリサーチが行う。